



ポストコロナの図書館 —あなたにとっての新発見は？



副学長 やまだ まさみち 山田 政通
(外国語学部教授)

コロナ禍対応も大きな山場を越え、今年度はポストコロナの段階に入り、大学もコロナ前の「日常」に戻りつつあります。授業だけでなく、国際交流や地域連携のイベント、課外活動も大分回復してきましたが、まだまだ完全回復には程遠いと感じます。図書館の利用状況も同様で、貸出冊数はコロナ前の数字に戻ってきたようですが、実際に図書館に足を運び入館者数は、まだ6割ほどの回復のようです。

コロナ禍中の私自身の図書館利用を振り返ってみると、正に上記の数字通りでした。自分の研究、授業の準備や論文指導に必要な書籍類の貸出には図書館を利用しましたが、それ以外は空き時間にたまに新聞を読んだり、新着図書をチェックに行くだけで、コロナ前に比べると格段に利用頻度は落ちていました。今回は、私も含め皆さんに再度図書館へ足を運びきっかけになればと思い、この文章を書いています。

お薦めの図書館利用法

書籍類の貸出や閲覧などのメインな利用法以外に、私がお薦めしたい利用法は以下の二つです。

第一は「新聞の読み比べ」。これは就活準備には必須です。国内外でどのような出来事が発生し、どのような問題意識が社会にあるのかを知るのには、就活の第一歩です。まずは日本語新聞の読み比べからでしょうが、余裕があれば英字新聞をはじめとして外国語の新聞も数多く揃っていますのでお薦めです。特に外国語学部の学生にとっては、これほどありがたい生の教材はないと思います。時間がなければ表紙を眺めるだけでもそれぞれの国や新聞の特徴が見えてきます。是非試してみてください。

もう一つは、「新着図書コーナー」の活用です。最近出版され新たに図書館に届いた書籍が並んでいます。最新のトピックや情報がいち早く手に入り、大変便利です。(数年前、AIブームが起きた時は、その最新の解説書をいち早く借り出し、信頼できる情報を収集できて非常に助かりました。)

図書館での新発見

夏休み前のある日、私が担当する3年ゼミナール(外国語学部英米語学科)のメンバー9人に実際に図書館に行って、館内を探索し、自分にとっての「新発見」をレポートしてもらいました。その新発見の一部を紹介すると：

- * 普段自分が読んでいるファッション誌やエンタメ関連の雑誌もありビックリ。
- * DVDやBlu-rayも、堅い授業系のものだけでなく、新作や有名作品など幅広い映画があり、利用価値がある。
- * 歴代の卒業アルバムを発見！
- * 自習スペースが充実していて、課題をするのによい環境。

大学の図書館には、専門的な内容の書籍や雑誌しかないと思われている人が多いと思いますが、実は大学生が興味を持つような一般的な雑誌やDVD等もありますので、是非覗いてみてください。先輩たちの卒業アルバムも揃っています(先生方の過去の写真も見られるかもしれません)。また、自習スペースが活用できそうだという声がありましたが、もう一つ活用してほしいものに、「アクティブ・ラーニング・エリア」があります。このエリアは文京図書館のB1に2か所と八王子図書館の1Fにあります。ここは、グループ学習の場として利用できて、声出しがOKとなっています(とはいえ、音量には周りへの配慮が必要です)。学生の皆さんが、ゼミナール活動などで集まる場として是非活用してほしいと思います。

以上のように、現在の図書館には、皆さんの多様な利用ができるような仕組みが豊富に用意されています。最近図書館に行ったことがない人は、ぜひ空き時間に短時間でもよいので一歩足を踏み入れてみてください。私のゼミ生のように、必ず「新発見」があるでしょう。

最後になりますが、先生方には、ゼミナールや研究室の活動の一環として、グループ学習の場として図書館の利用を学生に促していただければ幸いです。ポストコロナの図書館の活性化の為に、先生方にも図書館のサポーターになっていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

アフターコロナの図書館

新型コロナウイルスの感染症拡大により、2020年2月から2023年4月までの短期間で世の中は大きく変化しました。この期間、図書館では緊急事態宣言の発令等によって大学に来ることが難しくなった学生のみさんの学修をサポートするため、図書館の本やサービスを自宅でも利用できるような体制を整えることとしました。

検討を重ねた結果、図書館では3つのサービスを開始することになりました。

自宅に図書館の本をお届けする「本の郵送貸出」。ID/PWを入力することで、自宅や外出先から図書館のデータベースを利用できる「ID/PWで利用できる学外アクセスデータベース」。図書館内で開催していた図書館主催ガイダンスを、対面だけでなく動画での提供にも広げ、自宅のPCやスマホ等からオンデマンドで学べる「ガイダンス動画」。

これらのサービスは、これからも学生のみさんが環境を問わず学修を続けるためのサポートとして、世の中に日常が戻り始めた2023年度以降も継続していきます。図書館は今後も時代の変化に合わせ、より良いサービスを提供できるよう努めてまいります。



2020年以降に始まった 図書館の 3つの新しいサービス

本の郵送貸出

大学に来られない時にも、図書館の本が自宅に届く「郵送貸出」を始めました。

文京・八王子どちらの図書館の本もご利用頂けます。

※詳細は Takudai Portal 2023/4/1 の図書館からのお知らせをチェック！



ID/PWで利用できる学外アクセスデータベース

新たにID/PWで利用できる学外アクセスデータベースの提供を始めました。

今までのマイライブラリ経由で利用できるデータベースだけでなく、より多くのデータベースを自宅や外出先から利用できるようにしました。



ガイダンス動画

大学に来られなくても、自宅のPCやスマホ等から学べる「ガイダンス動画」の公開をYouTube(限定公開)で始めました。

オンデマンドで図書館の利用方法や、データベースの活用方法等を学べます。



詳細は図書館HPにて、こちらのパナーをクリック！

アフターコロナの図書館の今

新型コロナウイルス感染症が拡大していた時期には、「密」を避けるため図書館の閲覧席も半数ほどに減らしていましたが、2023年度より図書館での制限はなくなりました。

全ての閲覧席が利用できるようになり、グループでの席利用も再開しています。



文京・八王子図書館では
現在も除菌シートや手指消毒用アルコールを設置しています。



図書館後援会学生のお勧め本

「図書館後援会」は総務局に所属するサークルです

政経学部 4年 猪俣 晴一

戦略の創造学

ドラッカーで気づきデザイン思考で創造しポーターで戦略を実行する



ISBN :
9784492534236

山脇秀樹 著 東洋経済新報社 2020/5

所蔵：文京B 2 図書 (エリアA) 336.1|||3925

私がおすすめする本は、「戦略の創造学」です。

この本はピーター・F・ドラッカー経営大学院教授で同校の学長を務めたことがある山脇秀樹さんの著書で、「デザイン思考の概念とエッセンスを利用して、新しい企業モデルを構築する方法」を解説し、実際にどのようにイノベーションを起こすのかについて考えさせる本です。

初見だとレベルの高い本のように感じられる方もいるかもしれませんが、本書は内容も砕かれたものであり、とてもキャッチーで面白くスラスラと読めてしまう内容になっています。

本書では、新しいことに挑戦するうえで大切にすべき考え方や、過程に関して多く書かれています。大学生活でなにかに挑戦してみたいと考えたことのある方、そうでない方も勉強になりますので、ぜひ一読することをおすすめします。

工学部 1年 倉原 友樹

クラゲに学ぶ ノーベル賞への道

下村脩 著 長崎文献社 2010/10

所蔵：文京B 1 図書 289.1|||3862



ISBN :
9784888511575

現在、細胞の観察に緑色蛍光蛋白質 (GFP) は欠かせない存在となっています。

実験の授業で用いるマーカー、あるいは高校までの学習において見覚えのある、緑色に光る細胞に親しみを覚える人も多いのではないのでしょうか。

GFPを発見した研究者、下村脩のキャリアは決して華々しいものではありませんでした。

1928年に京都に生まれ、長崎の諫早に疎開し学生生活を送った彼は、戦争の影響で勉強ができませんでした。16歳の時には原爆が投下され、その惨禍を目の当たりにします。そこから得た人生の指針、他にも様々な下村のルーツとなる経験、それをどのように捉えてきたのかが詰まった本です。

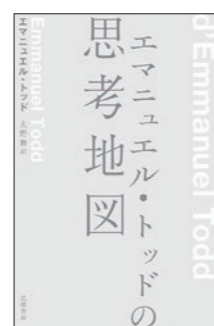
一点集中、学会も時間の無駄という徹底ぶりと、置かれた環境を活かす彼のブレない生き方は、私の大学生活の柱の一つでもあります。何らかの目的や将来のためではなく、焦燥感に冷静さを取り入れ、やる気へと導いてくれる一冊です。

政経学部 1年 森下 蓮

エマニュエル・トッドの思考地図

エマニュエル・トッド 著 / 大野舞 訳 筑摩書房 2020/12

所蔵：八王子 1 F 開架図書 307|||3020



ISBN :
9784480847539

「もしも未来を予測することができたなら」。だれもが一度は考えたことがあるかと思います。今回紹介するのはそんな願いに関する本です。

イギリスのEU離脱、リーマン・ショック、ソ連崩壊、アラブの春……どれも歴史に残る出来事ですが、これらを事前に予測した人物がいたのをご存知ですか。世界を代表する歴史人口学者、エマニュエル・トッドです。彼は人口統計や経済に関する様々なデータを活用することで歴史的な社会現象の予測を的中させました。そんなエマニュエル・トッドはどのような思考方法をしているのか。現在の混迷する世界の中で未来を見通す力を身につけるにはどうしたらよいか。現代最高の知と呼ばれるエマニュエル・トッドの書下ろしで、大学生活の学びにも生かすことのできる思考方法、学習方法が詰まった一冊。学び方や分析の仕方そのものを学ぶことのできる、大学生にぴったりの本です。内容も分かりやすいのでぜひ読んでみてください。



図書館からのお知らせ



利用者用PCが新しくなりました！

図書館内に設置している利用者用PC（ブラウジングPCなど）について、機器の入れ替えを行いました。課題やレポート作成などにぜひご利用ください。

図書館・就職課共催ガイダンスのお知らせ

図書館では、就職課との共催ガイダンスとして「プロ講師が解説！業界・企業研究ガイダンス―『業界地図』『四季報』の活用法―」を今秋開催予定です。Zoomでのライブ配信と、ライブ配信後のアーカイブ配信・対面でのフォローアップ講座をそれぞれ準備中。詳しくは Takudai Portal でお知らせします。

卒論等作成のための特別貸出を行います

卒業論文等の作成予定者（全学部4年生）を対象として特別貸し出しを実施します。ぜひご利用ください。

利用期間 令和5年8月1日（火）～令和6年2月1日（木）

対象者 全学部4年生

利用方法 サービスカウンターにお申し出ください。（自動貸出機では利用できません。）

貸出内容 冊数：15冊／期間：1ヶ月

※通常貸出（10冊／2週間）に加え、さらに15冊まで貸出可能です。

最終返却日 令和6年2月1日



図書館スタッフコラム はじまります！

突然ですが、
図書館で働く多くのスタッフが
どんな仕事をしているかご存知ですか？

皆さんが図書館に来ると必ず目にするサービスカウンターでは、資料の貸出・返却処理をしたり、データベースの利用方法をご案内したり……と様々な形でスタッフが皆さんのサポートをしています。でも、それだけではないんです！

例えば新しい図書・資料を図書館で使えるようにする手続きや本の修理、ガイダンスの準備やシステムの管理などなど、いろいろな形で皆さんがもっと快適に＆便利に利用できるよう、図書館を作り上げている人たちがいます。

このコラムでは図書館や私たちスタッフをより一層身近に感じてもらえるよう、図書館のことや私たちスタッフのお仕事紹介、時にはちょっとした裏話などなど、知っているようで意外と知らない拓殖大学図書館にまつわる“よもやま話”を皆さんにお届けします。もしかしたら、誰も見たことのない図書館の“ひみつ”が覗けちゃうかも……？ スタッフに聞いてみたいこと、取り上げてほしいテーマがもしあったら、図書館のスタッフにこっそり教えてくださいね。

次号（vol.123）からいよいよ連載がスタートします。ぜひ楽しみに！

拓殖大学 図書館報 第122号 編集・発行 拓殖大学図書館

図書館

〒112-8585 文京区小日向 3-4-14
TEL 03 (3947) 7229

八王子図書館

〒193-0985 八王子市館町 815-1
TEL 042 (665) 1483



拓殖大学図書館

検索

